

## 第1回 千葉県病院局医療安全監査委員会議事録

### 1 日時・開催場所

令和6年7月24日(水) 午後1時30分から午後3時10分  
ホテルプラザ菜の花 3階菜の花

### 2 出席者

医療安全監査委員会：長尾会長、五十嵐委員、大久保委員、太田委員、隈本委員、  
真田委員、豊田委員（会長を除き、五十音順）

病院局：山崎病院局長、野澤副病院局長、山本経営管理課長  
坂副参事兼医療安全安心推進室長 ほか

各病院：(がんセンター)加藤病院長、田中副病院長、大内医療の質・安全管理部部長、  
(総合救急災害医療センター)宮田病院長、稲葉医療局長  
(こども病院)皆川病院長、仲野副病院長  
(循環器病センター)中村病院長、川副医療局長  
(佐原病院)露口病院長、中堀医療局長 ほか

### 3 会議次第

#### 1) 開会

#### 2) 委員・事務局紹介

##### (1) 監査委員会長選出について

《決定事項》

- ・監査委員の互選により長尾委員を会長とする。

#### 3) 議題（議事進行：長尾会長）

##### (1) 循環器病センター医療安全監査について

「循環器病センター医療安全監査の実施について（案）」について協議した。

《決定事項》

- ・案は承認された。

##### (2) 包括公表について

令和6年7月16日に公表した、県立病院における「インシデント・アクシデント報告状況について（令和5年度分報告）」「アクシデントに対する調査の実施状況について（包括公表）」等の説明及び、記者説明での反応等を共有した。

《意見》

- ・記者とのやりとりでは、医療安全対策としてインシデント・アクシデント報告の意義について理解が深まってきたような印象を受けた。しかし、各新聞記事の見出しをみると上記の意義を理解され書かれたものもあったがインシデントと医療事故を混同して理解しているように見受けられるものがあった。
- ・記者にインシデント・アクシデント報告の意義を理解してもらうには、医療事故とは何か、過誤とは何か、インシデント・アクシデントとは何か、ということを正確に伝え、医療事故だけれども過誤ではない案件が存在すること、医療

事故というのは厳格な定義のもとに決定され、調査したうえで過誤かどうか初めてわかる等、時間をかけて伝えた方がよい。

《今後の方針》

・引き続き、県民や記者に正しい理解が得られるよう、公表時の説明を検討する。

(3) その他

次回、第2回医療安全監査委員会は、12月26日（木）を予定している。

4) 閉会